

## 令和 3 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）実績報告書

（令和 4 年 1 月）

研究代表者氏名（所属・職名）	森谷康文（函館校・准教授）		
プロジェクトの名称	地域の変化に関する住民意識の国際比較研究—函館・道南地域とカナダ大西洋沿岸地域を中心に—		
共同研究者氏名（所属・職名）	●森谷康文・函館校・准教授 古地順一郎・函館校・准教授 中村直樹・函館校・講師 藤井麻由・函館校・講師 ラモス ハワード・ウェスタン大学社会科学部社会学科学科長・教授		
研究プロジェクトの概要			
<p>急速な少子高齢化や人口減少、若者の流出、労働力不足、中心市街地の衰退、外国人観光客の増加、北海道新幹線の開業、宿泊業における外国資本の流入、外国人住民の増加など、函館・道南地域には大きな変化の波が押し寄せている。本研究の目的は、函館・道南地域の住民がこの変化をどのようにとらえているかを明らかにすることである。さらに、住民意識を明らかにすることで、今後の地域づくりや政策を考える上でのデータを提供することも目指した。</p> <p>また、本研究では、函館・道南地域の状況をグローバルな文脈で位置づけるため、カナダ大西洋沿岸地域との国際比較も行うこととした。カナダ大西洋沿岸地域は、少子高齢化、若者の流出、人口減少、人口減少対策としての積極的な移民受け入れ政策、グローバル経済での地域経済のあり方など、函館・道南地域と同様の地域課題を抱えている。このような背景を踏まえ、ウェスタン大学のラモス教授を中心とした研究チームが、既に4都市における住民意識の調査を行っており、その成果も発表されている（Perceptions of Change Project: perceptionsofchange.ca）。本研究は、その実績を踏まえて、函館・道南地域との比較を試みた。</p>			
達成度	3	←番号を記入	1 計画とおり達成した          2 概ね達成した 3 あまり達成できなかった      4 全く達成できなかった
<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関わる遠隔授業や困難を抱える学生のサポートなどによる教育や大学運営に関わる業務時間が大幅に増したため、研究時間が思うように取れておらず研究活動が遅れ気味である。</p>			
研究実績の概要			
英語論文の年度内投稿に向けた準備を進めている。			
研究成果の公表実績			
【著書】			
【学術論文】			
【学会発表】			
【普及啓発イベント、セミナー、研修会等】			

【研究成果の紙媒体、報告書、研修資料等】

【関連URL】